

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
日本テレビ盃	2018/10/3	JpnII	船橋	1800m	ミドルペース	良	コース適性、展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	テイエムジンソク	牡7	57	古川	クロフネ	ノーザン系	フォーティナイナー	ミスプロ系	A	C	B	B	B	B	◎	
2	2	アサヤケ	牡7	56	本田	サウスヴィグラス	ミスプロ系	シンボリクリスエス	ロベルト系	D	B	C	D	C	C		
3	3	ラッキーポイント	牡5	56	佐藤友	タニノギムレット	ロベルト系	ダンスインザダーク	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
4	4	アポロケンタッキー	牡6	57	モレイラ	Langfuhr	ノーザン系	Gone Wset	クラリオン系	A	A	B	B	A	B	▲	
5	5	センティグレード	牡7	56	川島正	パイロ	ナスルーラ系	Indian Ridge	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
	6	ケイティブレイヴ	牡5	58	福永	アドマイヤマックス	サンデー系	サクラローレル	ナスルーラ系	A	A	B	B	A	B	○	
6	7	オーズ	牡5	56	石崎駿	ソングオブウインド	ミスプロ系	フレンチデビュティ	ノーザン系	D	C	C	D	D	D		
	8	ヒガシウィルウィン	牡4	57	森	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ブライアンズタイム	ロベルト系	C	A	B	B	B	B	△2	
7	9	サウンドトゥルー	セ8	58	御神本	フレンチデビュティ	ノーザン系	フジキセキ	サンデー系	A	A	A	B	A	B	△1	
	10	アサクサポイント	セ10	56	加藤聡	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	D	D	D	D		
8	11	カガノカリスマ	牡6	56	西村	ローズインメイ	ヘイロー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	D	D	D	D	D		
	12	コスモマイギフト	牡9	56	阪上	アツミラーレ	サンデー系	スピニングワールド	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
テイエム ケイティ アポロ ヒガシ サウンド オーズ アサヤ センテ ラッキー コスモ アサク カガノ  ミドルペース	<p>事実上、テイエムジンソク、アポロケンタッキー、ケイティブレイヴ、ヒガシウィルウィン、サウンドトゥルーの5頭立て。一連のダートグレードを見ていると、アポロケンタッキー、ケイティブレイヴ、サウンドトゥルーの3頭はほぼ互角の能力の持ち主。事実、昨年の日本テレビ盃は1着アポロケンタッキー、2着サウンドトゥルー、3着ケイティブレイヴまで0.1秒差。この3頭に関しては仕掛けのタイミング、枠順、馬の調子などちょっとしたことで着順が入り替わると見ていだろう。この3頭の微妙な優劣をつけることももちろん大切だが、テイエムジンソク、ヒガシウィルウィンがどこまで通用するかもまた大事なポイント。ここは本命馬が2着以内に入る前提で馬券を組み立てていきたい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は<b>テイエムジンソク</b>の逃げ切りに期待する。東海ステークス以降、明らかにリズムが悪く、ピークを過ぎたかもしれないが、前走帝王賞は前後半の1000m通過が59.9-64.3の超前傾ラップで負けるべくして負けたレース。(以下省略)</p>	回顧           次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	テイエムジンソク	◎	前走帝王賞は前後半の1000m通過が59.9-64.3の超前傾ラップで負けるべくして負けたレース。距離短縮、コース替わりともにプラスで、マイペースの逃げを打てれば、勝ち負けに持ち込めるはず。		
2	2	アサヤケ		近走はA2で全く歯が立たない状態。ピークを過ぎたのは明らかで苦戦濃厚だろう。		
3	3	ラッキーポイント		湯前良厩舎3頭出しの1頭。出走賞金目当ての参戦だろう。		
4	4	アポロケンタッキー	▲	近走はムラ駆けになっているが、17年ドバイワールドカップから帰国後は12頭立て以下【1.2.0.0】、13頭立て以上【0.0.0.4】。頭数が増えてストレスフルな競馬になると自分から走るのをやめているだけで、実質5頭立ての少頭数競馬なら能力全開の番だろう。		
5	5	センチグレード		近走不振で全盛期を明らかに過ぎた。苦戦濃厚。		
	6	ケイティブレイヴ	○	テイエムジンソクの逃げ切りに期待する以上、その直後を追走しそうな本馬の評価を下げる必要はない。近走で勝利を挙げた川崎記念、ダイオライト記念はともに逃げ切り。番手から運ぶと終いがやや甘くなるが、それでも大崩れすることは想像しづらい。		
6	7	オーズ		A2でやや壁にぶつかっている馬。南関東の重賞さえ出走したことがなく、苦戦濃厚だろう。		
	8	ヒガシウィルウィン	△2	使われつつ状態が良くなってきた印象。2走前の帝王賞では4コーナーでサウンドトゥルーよりも後ろの位置になってしまい、それでも5着まで追いつけたのだから位置取りひとつでもっと上の着順に入れたかもしれない。ただ行き脚がやや鈍くなっており、この枠だと外々を回られる形になりそう。		
7	9	サウンドトゥルー	△1	日本テレビ盃4年連続の出走で、過去3回は15年1着、16年3着、17年2着とすべて馬券圏内に好走。8歳でも能力が衰えた印象は全くなく、今年も上位争いに加わってくるのではないかと。鞍上は地元の名手・御神本騎手。大野騎手からの乗り替わりはプラスに捉えていいだろう。		
	10	アサクサポイント		スタミナ型のダート馬で1800mでも短いくらいの馬。当然相手も強い。		
8	11	カガノカリスマ		湯前良厩舎3頭出しの1頭。出走賞金目当ての参戦だろう。		
	12	コスモマイギフト		湯前良厩舎3頭出しの1頭。出走賞金目当ての参戦だろう。		